

令和7年度「平和と防災を考え、受け継ぐ集い」について

1 趣 旨 釜石市への派遣生徒による体験報告、代表児童生徒の感想交流を通して、参加者が過去に起こった悲慘な出来事や、被災した人々の思いを実感することで、一人一人が命の尊さを改めて考え、代表生徒が自校の生徒に平和と防災の大切さを伝えられるようにするもの。

2 主 催 青森市、青森市教育委員会

3 開催日 令和7年9月30日（火）

4 会 場 青森市立造道中学校 体育館

5 参加者

会場参加		オンライン参加	
○造道中学校全校生徒	469名	○造道小学校6学年児童	88名
○釜石市への派遣生徒	10名	○小柳小学校6学年児童	74名
○会場校教職員	約40名		
○造道中学校区学校運営協議会委員等	約18名		
○教育委員、PTA会長、町会長等	約15名		
○市内中学校代表生徒（各校2名×18校）	36名		
合計	約588名	合計	約162名
		参加者合計	約750名

6 主な内容

（1）釜石市への派遣生徒による体験報告

〔内 容〕 釜石艦砲射撃、東日本大震災、青森空襲

〔派遣生徒〕 10名

〔引率指導教員〕 1名

（2）市長からの平和・防災学習事業修了証書の贈呈

（3）参加者による感想交流

（4）平和宣言

（5）合唱『糸』『翼をください』

（6）教育長講評